

## 「孤独死・孤立死」の実態把握に関する ワーキンググループの設置について

### 1．目的

「孤独死・孤立死」に関しては、東京都など一部の自治体において、自宅住居等で亡くなった方に関する統計を作成していることや、これを基にした民間の推計があるものの、その定義や考え方は様々である。

こうした中で、「孤独死・孤立死」について、その実態把握のために必要な用語の定義や把握方法等について、「孤独死・孤立死」に関する研究事例、死亡に関する統計データ等を参考にしつつ、検討を行うことを目的とする。

### 2．構成員

「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループ（以下「WG」という。）は別紙の構成員をもって構成する。

### 3．議事

- (1) WGは、座長が召集する。
- (2) 座長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者に出席を求めその意見を聞くことができる。
- (3) WGは、非公開とする。
- (4) WGの検討過程及び検討結果については、随時「孤独・孤立の実態把握に関する研究会」において報告する。

(別紙)

「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループ  
構成員名簿

(50音順、敬称略)

【有識者】

(座長) 石田 光規 早稲田大学文学学術院文化構想学部教授  
金涌 佳雅 日本医科大学大学院医学研究科教授  
斉藤 雅茂 日本福祉大学社会福祉学部教授

【オブザーバ】

警察庁  
厚生労働省

【事務局】

内閣官房孤独・孤立対策担当室  
(株)サーベイリサーチセンター